

平成 21 年 10 月 21 日

東日本旅客鉄道株式会社
執行役員 千葉支社長 梅原 康義 様
東日本旅客鉄道株式会社 鎌取駅
駅長 伊藤 誠一郎 様

千葉市緑区町内自治会連絡協議会
会長 豊田 洋祐
市原市ちはら台地区自治会連合会
会長 前田 延明

鎌取駅の改札口の改善、改良及び直通快速電車の増便 のお願いについて(要望)

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、千葉市おゆみ野と市原市ちはら台は双子都市として 1969 年計画決定から 40 年が経過して約 45,000 人と約 20,000 人が居住する街に発展して来ました。しかしながら、計画人口は夫々 80,000 人と 50,000 人ではありますが、UR 都市機構(以下、UR)が所有している大型遊休地も未だ多く残っています。バブル崩壊やサブプライムローン問題などの景気後退や世帯当たりの居住人口が 4 人から 3 人になったと謂えども 60,000 人と 35,000 人規模で完結するものと考えています。言い換えれば両地域で更に約 30,000 人の人口が増加するものと思います。

このような状況下で UR は平成 25 年 3 月にはおゆみ野とちはら台からの区画整理事業を撤退する事が決定され、事業者向けや住宅メーカーへの積極的な所有地の販売を実施しており「ユニモ」、「イオン」等大型店が相次いで開業し、積水ハウス・大和ハウス・新昭和などの住宅メーカーも大型宅地開発を進めています。また、来年 6 月にはちはら台にホームセンター店「スーパービバホーム」の進出が予定されています。

現在、おゆみ野とちはら台の地域で約 65,000 人の人口を抱えており、鎌取駅を利用する通勤、通学の利用客は貴社 HP によれば、2008 年度の 1 日当りの平均乗車人員は 18,500 名と記載されております。外房線管内では千葉駅 107,000 名、蘇我駅 31,000 名に続き乗車人員数は第 3 位と位置づけられております。(ほぼ同数の降車人員があると考えられます)今後の人口増加を勘案すれば、外房線と鎌取駅の利用客は着実に増加していくと思われます。乗降客の利便性や安全性を勘案すれば早急に対応策を講じていく必要があると考えていますので、ご検討賜りますようお願い申し上げます。

敬具

— 鎌取駅の改札口の改善、改良について —

鎌取駅の朝方（7時30分～9時30分）夕方（午後18時00分～20時00分）の通勤、通学の時間帯において、改札口付近スペース及び階段周りの混雑状態は異常であり、夕方はプラットフォームから改札口を通りぬげるのに非常に時間がかかり路線バスにも乗り遅れるありさまで苦情も殺到しています。

残念ながら鎌取駅の現駅舎の構造デザインは、これほどの利用客数の増加を想定していない昔のままの状態であります。駅事務所のレイアウト、改札口の前後のスペース及び自動改札機の数も、最近のおゆみ野やちはら台からの利用客の急激な増加に十分に対応しているものとは思えません。

単に利便性の問題のみならず、乗降客の安全面からも早急に鎌取駅の根本的な改善、改良が必要であるとの判断が両自治会の共通の認識でございます。

もはや短期的な対応策（例えば自動改札機を増やす）だけでなく、駅スペースの拡充など抜本的な改良が必要だと思われます。つきましては早急に中長期的な対応策（改札口の増設、新たな階段の付設等）も併せてご検討していただく事を要望致します。

— 直通快速電車の増便について —

京葉線快速及び総武線快速の外房線への直通運転（蘇我駅、千葉駅での乗り換え無し）を朝夕時を中心に増便していただき、可能であれば外房線の全便を京葉線と総武快速線直通にできないかどうか併せてご検討をお願い致します。

この問題については既に4～5年前にもJR東日本 千葉支社に一度ご提案申し上げた経過がありますが残念ながら具現化しておりません。

昨年の1日当りの平均乗車人員のデータでは鎌取駅（18,500名）、誉田駅（7,000名）、土気駅（13,900名）となっておりますが、その後の平均乗降客は確実に増加していると思われます。

本件は蘇我駅、鎌取駅、誉田駅及び土気駅を含む外房線全体の利便性の向上、顧客サービスの視点から早急にご検討を賜りますよう併せてお願い申し上げます。

上記の問題につきまして、貴社の基本的な方針、考え方等について甚だ勝手ではございますが、11月末までに文章でご回答を賜りますようお願い申し上げます。

以上